



【発信日】 令和3年12月2日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 9番窓口）

地域経済部 産業政策課 安達・五十川

電話 0779-64-4816 内線 1403

齊藤一郎さん（越前おおのブランド大使）がコンサートを開催

～アポロ室内管弦楽団と心温まる「生の音楽」を披露～

「越前おおのブランド大使」でセントラル愛知交響楽団首席客演指揮者の齊藤一郎さん（大野市中保出身・東京都在住）が、日本センチュリー響、京響、大阪フィルなど関西を代表するプロオーケストラの首席弦楽器奏者と共に送るプレミアムなコンサートで大野市で開催します。

コロナ禍で音楽に触れる機会が減っている中、市民をはじめ多くの人に心温まる「生の音楽」を届けたいという想いを込め、齊藤さんご自身が企画したコンサートです。

つきましては、当日の取材にご協力をお願いします。

記

1 主催

SK art&music

※大野市が後援しています。

2 日時

12月11日（土）午後3時30分から開演（午後2時30分から開場）

3 場所

浄土宗 光明山悟真院 善導寺 本堂（大野市錦町4-11）

4 コンサートの内容（予定）

【演目】 エルガー：弦楽セレナーデ、ブリテン：イルミナシオン、加藤真一郎：新作、ドヴォルザーク：弦楽セレナーデ

【主要キャスト】指揮者／齊藤一郎、ソプラノ／柳原由香、演奏／アポロ室内管弦楽団

5 当日の連絡先

善導寺 ダイモンテツジ TEL0779-66-2791

SK art&music TEL090-4428-8805

齊藤一郎と

アポロ室内管弦楽団

プレミアム・クラシックコンサート

出演

指揮者／齊藤一郎

ソプラノ／柳原由香

演奏／アポロ室内管弦楽団

コンサートマスター／後藤龍伸

プログラム

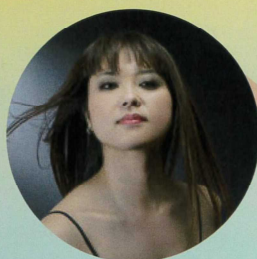
エルガー：弦楽セレナーデ

ブリテン：イルミナシオン

加藤真一郎：新作

ドヴォルザーク：弦楽セレナーデ

大阪フィルハーモニー交響楽団と
京都市交響楽団から
首席弦楽器奏者が結集。
齊藤一郎が送る夢のコンサート



ソプラノ／柳原由香



©Doko Nakamura

2021年12月11日(土) 15:30開演 (14:30 開場)
浄土宗 光明山悟真院 善導寺 本堂

【チケット料金】一般席 4,000 円 18 歳以下 2,000 円
野外席 1,000 円 ※未就学児入場不可

【チケット・お問合せ】善導寺ダイヤモンドツジ ☎0779-66-2791
Mail: sk.art.and.music@gmail.com 【主催】SK art & music
☎090-4428-8805

ARTS
ARTS for the future!

齊藤一郎 と アポロ室内管弦楽団

越前おおのブランド大使である指揮者 齊藤一郎が、大阪フィルハーモニー交響楽団と京都市交響楽団の首席弦楽器奏者を善導寺に結集し、他では聴くことのできないプレミアムなコンサートへと誘います。注目は若手の新鋭作曲家 加藤真一郎の新作と、リヨン国立歌劇場での出演経験を持つ世界的ソプラノ歌手 柳原由香がソロを務めるベンジャミン・ブリテン「イルミナシオン」。そして、今年で生誕180周年記念を迎えるドヴォルザークの「弦楽セレナーデ」です。重厚な弦楽合奏をぜひご堪能ください。



©Doko Nakamura

みは高い評価を得ており、2014年には第9回名古屋音楽ベンクラブ賞を受賞、齊藤一郎がプログラミングならびに指揮をした2016年4月の京都フィルハーモニー室内合奏団第203回定期演奏会が第15回佐川吉男音楽奨励賞を受賞した。

齊藤一郎 (指揮者) Ichiro SAITO, Conductor

福井県大野市出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を伊藤孝一、遠藤雅古、岩城宏之、若杉弘、湯浅勇治、佐渡裕、バブレ・デシュバイ、レオボルド・ハーガー、エルビン・アッツェルの各氏に師事。在学中に安宅賞受賞。1998年より文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積む。帰国後の2000年6月～2004年3月NHK交響楽団アシスタントコンダクターを務め、この間、サヴァリッシュ、プロムシュテット、スヴェトラノフ各氏らの薫陶を受ける。1997年大阪センチュリー交響楽団（現・日本センチュリー交響楽団）を指揮してデビュー。2002年にはN響を指揮、2003年関西フィルハーモニー管弦楽団で定期公演に初登場。これまでに、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラなど国内主要オーケストラに客演を重ねている。海外においても、セゲト響（ハンガリー）、モラヴィア・フィル（チェコ）、オラディア・フィル（ルーマニア）に客演した他、スロヴァキア・フィル定期公演（2005年）、現地でラジオ放送されたバルドゥビツェ室内管弦楽団（チェコ）定期公演（2007年）などに出演。2009年4月～2014年3月セントラル愛知交響楽団常任指揮者。2014年4月より同団首席客演指揮者。2014年4月～2019年9月京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督。レパートリーは、古典作品はもとより、芥川也寸志、黛敏郎、伊福部昭、松村禎三など日本の現代音楽を切り拓いてきた巨匠たちの作品、野平一郎、山本和智ら同世代の作曲家たちの作品、海外の現代作品、映画音楽やポップスまで幅広い。特に邦人作品への積極的な取り組み



柳原由香 (ソプラノ) Yuka YANAGIHARA, Soprano

沖縄県立芸術大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。第7回おきでんシュガーホール新人演奏会グランプリ受賞。第16回ABC新人コンサートに出演。明治安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生として、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンに留学。ドイツ・ベルリンを拠点とし、演出家タヴィッド・マルトン、スヴェン・ホルムと共に、現代音楽オペラ、Musiktheaterでヨーロッパの劇場で活躍。ミヒャエル・ヴェアトミュッラー、アレクサンドラ・グリカ、久保摩耶子など、国内外の現代作曲家の初演を歌う他、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ヴィヴィエ「ブカラ」のソリストとしても活動。2010年にベルリン・HAU劇場で、オフペンパッハ『ホフマン物語』のアントニア、ジュリエッタ、オリンピア、ステッラの4役を歌う。2016年エストニア・タリンのビルギッタ音楽フェスティバルにて、モーツァルトの「レクイエム」に出演。ミュンヘン・カンマーシュピーレにてベッリーニ『夢遊病の女』アミーナ役、2018年6月リヨン歌劇場にてモーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ役など着実に活躍の場を広げている。国内においても2015年日生劇場のモーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ役、2017年京都フィルハーモニー室内合奏団45周年記念公演に於ける日本人委嘱新作初演での好演は記憶に新しい。



©Marco Borggreve

加藤真一郎 (作曲) Shinichiro KATO, Composer

1978年生まれ。桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了（作曲専攻）。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学ピアノデュオ科マイスター課程修了。大学卒業作品《Cyclosis for orchestra》が第13回芥川作曲賞ノミネート。瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオとして活動。マレイドラノフ国際2台ピアノコンクールで第1位等、多数の受賞。国内外での演奏会、NHK「ベストオブクラシック」「クラシック倶楽部」等への出演、都響、東京フィル、京響との協奏曲の共演、多数の邦人作品の初演を行う。現在、国立音楽大学、桐朋学園大学、東京芸術大学非常勤講師。



後藤 龍伸 (コンサートマスター) Tatsunobu GOTO, Concertmaster

都立芸術高校を経て東京藝術大学卒業。福岡において、ミュージックステーション福岡特別講師を務め、リベルタ・グループで即興やジャンルを超えた演奏を展開。九大フィル、同OBフィル、福岡市民オーケ、久留米市民オーケ、その他のトレーナーを務める。九州室内管弦楽団メンバー。これまでに東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新星日本交響楽団、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを歴任。現在、日本センチュリー交響楽団コンサートマスター、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを兼任。

アポロ室内管弦楽団

指揮者 齊藤一郎が過去に共演した大阪フィルハーモニー交響楽団と京都市交響楽団の首席奏者を中心に結成した管弦楽団。本日の公演は再編成後初の登場となる。レパートリーはクラシック音楽の作品はもとより、近現代の作品まで幅広い。